

平成20年度 新聞記事等一覧 (2月分)

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
1	2月2日	日刊工業新聞	29面 未来思考 経営戦略39 ロボット大使が日本アピール	東京農工大学林教授が、ヒューマノイドロボットを政府の「正式な」マーケティング担当大使や技術戦略特命大使に任命し、国際イベントでは現地の言葉でスピーチできれば、日本の優れたモノづくりや製品サービスをアピールでき、企業の活性化につながるかと解説。	技術経営研究科 林 志行 教授
2	2月3日	毎日新聞 (東京・多摩版)	23面 多摩の豊かな自然を感じて 国立・郷土文化館 ミニミニ水族館	東京農工大学西田氏が、くにたち郷土文化館内の常設展示コーナー「ミニミニ水族館」の開設に協力したと紹介、および、東京農工大学西田氏のコメントが掲載。	農学府 西田 一也 氏
3	2月3日	日刊工業新聞	27面 変革期の大学発ベンチャー 日本型確立へ 2 第3部 発明者アンケート 高い創業者の貢献度 企業からの共同研究費 「収入の主なもの」43%	東京農工大学と日刊工業新聞社が行った大学発ベンチャーに関する共同アンケートの結果について紹介。	共生科学技術研究院 亀山 秀雄 教授
4	2月3日	日刊工業新聞	27面 揮発性有機化合物対策 中小向けコンサル 産学共同システム研 大学発VB技術活用	東京農工大学白井客員教授が社長を務める産学共同システム研究所が、中小企業向け揮発性有機化合物(VOC)対策のコンサルティンクを、東京農工大学発ベンチャー「アルマイト触媒研究所」などの技術を活用しながら始めると紹介。	技術経営研究科 共生科学技術研究院 白井 達郎 客員教授 亀山 秀雄 教授
5	2月4日	日経産業新聞 (日経テレコン21)	11面 燃料電池向け非白金触媒 東京農工大 安い原料で代替	東京農工大学永井教授らの研究チームが、白金を使わない燃料電池向け触媒を開発したと紹介。	共生科学技術研究院 永井 正敏 教授
6	2月4日	日刊工業新聞	21面 産学連携新ステージへ 県外の大学が続々参加 地域の枠を超え広域化 テクニカルショウ ヨコハマ2009	「テクニカルショウヨコハマ2009」において、東京農工大学宮浦教授による講演「ポリメキシフラボノイドを活用した歯周病予防ケア製品の開発」および東京農工大学松嶋助教による講演「静電噴霧熱フィラメント法を用いたダイヤモンド単結晶高速育成技術」が開催されること案内。	共生科学技術研究院 共生科学技術研究院 宮浦 千里 教授 松嶋 雄太 助教
7	2月5日	日本経済新聞	27面 国公立大2次試験 志願状況	国公立大学2次試験志願状況(2月4日15時現在)の一覧表に、東京農工大学が掲載。	
8	2月5日	生協流通新聞	2面 ひ・と 東京農工大の広報大使に 「生協の白石さん」	東京農工大学が『生協の白石さん』の著者である白石氏を、広報大使第1号に任命したことを発表。	小畑 秀文 学長 白石 昌則 広報大使
9	2月6日	毎日jp (福岡都市圏版)	web 連携：九州大など6大学、タイ・ドイツの大学と 共同で農学教育推進／福岡	東京農工大学など国内3大学とタイ、ドイツの3大学が共同農学国際教育に向けての合意調印式を行ったと紹介。	
10	2月6日	日刊工業新聞	27面 携帯でe-ラーニング 英語教材を簡単自作 東京農工大がシステム	東京農工大学金子准教授、都田准教授らが、動画像と英単語を組み合わせ、簡単に英語の学習教材を自作できるシステムを開発したと紹介。	共生科学技術研究院 共生科学技術研究院 金子 敬一 准教授 都田 青子 准教授
11	2月6日	科学新聞	6面 平成20年度科学研究費補助金 機関別配分額トップ300	東京農工大学が、平成20年度科学研究費補助金の機関別配分額において、21位と掲載。	
12	2月10日	日刊工業新聞	20面 レーザー 白石さんのおかげ	「生協の白石さん」こと白石氏を広報大使に任命したことについて、東京農工大学小畑学長のコメントが掲載。	小畑 秀文 学長 白石 昌則 広報大使
13	2月10日	コープニュース	4面 東京農工大 白石さんが広報大使に 異動後もイメージアップを	東京農工大学小畑学長が「生協の白石さん」の白石氏を「広報大使」第1号に任命したことを「東京農工大学の『チェンジ』を知ってもらうために」と題した記者会見で発表、および、東京農工大学白石広報大使のコメントが紹介。	小畑 秀文 学長 白石 昌則 広報大使
14	2月11日	広報ふちゅう	4面 官公庁から 東京農工大学科学博物館繊維作品展	東京農工大学科学博物館が主催する、繊維作品展の案内。	科学博物館 朝倉 哲郎 館長
15	2月12日	日本経済新聞	16・17 面 理工教育支援プロジェクト テクニカルネサンスジャパン 理工系学生のあなたへ。 「企業に研究開発してほしい未来の夢」コンテスト 受賞者の喜びの声をお届けします。	東京農工大学工学府植島氏・岡田氏が、日本経済新聞社主催の「企業に研究開発してほしい未来の夢」コンテストのナビタイムジャパン賞最優秀賞を受賞したことの紹介、および、東京農工大学工学府植島氏・岡田氏のコメントが掲載。	工学府 工学府 植島 量 氏 岡田 聡 氏
16	2月13日	日刊工業新聞	26面 広がるMOT教育 専門職大学院の今 9 東京農工大学④ 技術リスク探求に配慮 事業化重視の教課学習	東京農工大学亀山技術経営研究科長が、国立大学法人として初めて創設された専門職大学院の一つである技術経営研究科を紹介。	技術経営研究科 亀山 秀雄 技術経営研究科長

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
17	2月13日	科学新聞	4面 生きた筋フィラメントのATPによる動き 世界初 電子顕微鏡用いて記録 杉・帝京大名誉教授ら成功	東京農工大学箕田准教授らが、日本電子株のガス雰囲気試料室を利用して、生きた筋フィラメントのATPによる動きを、世界で初めて電子顕微鏡で記録することに成功したと紹介。	共生科学技術研究院 箕田 弘喜 准教授
18	2月15日	朝日新聞	12面 視線 蝶の道 Butterflies	東京農工大学出版会が発行する、東京農工大学卒業生で昆虫写真家海野氏の写真集「蝶の道 Butterflies」の紹介。	東京農工大学出版会 農学部 海野 和男 氏
19	2月16日	産経新聞	12面 知の先端 「スタチン」を発見 東京農工大特別栄誉教授 遠藤章さん コレステロール合成阻害 「動脈硬化のペニシリン」	東京農工大学遠藤特別栄誉教授が、世界的な現代病の高コレステロール血症の特効薬であるコレステロール低下剤「スタチン」を発見したことの紹介、および、東京農工大学遠藤特別栄誉教授のコメントが掲載。	遠藤 章 特別栄誉教授
20	2月16日	日刊工業新聞	23面 パワーアシストスーツ 成果続々 手足に装着 動きを補助 大学・電機・自動車がVBで研究 人体にプラスアルファの力	東京農工大学遠山教授・荻原教授が開発したパワーアシストスーツが、大学や企業が開発する主なパワーアシストスーツとして紹介、および、東京農工大学遠山教授・荻原教授のコメントが掲載。	共生科学技術研究院 共生科学技術研究院 遠山 茂樹 教授 荻原 勲 教授
21	2月16日	日刊工業新聞	29面 未来思考 経営戦略40 価値ある安さ、ユニクロとマック	東京農工大学林教授が、「ユニクロ」や「マクドナルド」は、「安いから売れる」ではなく、利益を出しつつ、結果的に「安いと感じるもの」を顧客に提供しており、過去の成功体験に引きずられず、新たな市場へのチャレンジやイノベーションの結果、大きなリターンを得ていると解説。	技術経営研究科 林 志行 教授
22	2月17日	日刊工業新聞	28面 MOT・知財で博士課程 東京理科大4月、設置 授業料、国立並みに	東京農工大学が、工学系研究科の博士課程を利用して、社会人MOT修了生が進学するケースが増えている大学の一つとして紹介。	技術経営研究科 亀山 秀雄 技術経営研究科長
23	2月19日	立川経済新聞 (web)	web 多摩川周辺の自然を凝縮-くにたち郷土文化館に「ミニミニ水族館」	東京農工大学西田氏が、くにたち郷土文化館「ミニミニ水族館」と協力し、16種類約50匹の生物を集めたと紹介。	農学府 西田 一也 氏
24	2月20日	日刊工業新聞	24面 広がるMOT教育 専門職大学院の今 10 東京農工大学⑩ 国際標準化で人材育成 双方向講義、高い学生評価	東京農工大学中村技術経営研究科副研究科長が、東京農工大学技術経営研究科は日本で初めて、事業経営に伴う技術リスクを経営コントロール下に置き、最小化していくカリキュラム、教育方法を構想し、教授陣を整えたこと、および、「MOT教育の国際連携強化事業―産学連携に関する国際ワークショップ2008」において東京農工大学古川特任教授が基調講演を、亀山技術経営研究科長が講演を行ったことを紹介。	技術経営研究科 技術経営研究科 技術経営研究科 亀山 秀雄 技術経営研究科長 中村 昌允 技術経営研究科副研究科長 古川 勇二 特任教授
25	2月21日	読売新聞	2面 顔 東京農工大の広報大使になった 白石 昌則さん 39	1月に東京農工大学初の「広報大使」となった白石氏について、今後の大使としての活動予定、および、東京農工大学白石広報大使のコメントが紹介。	白石 昌則 広報大使
26	2月23日	日刊工業新聞	29面 未来思考 経営戦略41 中小企業のオープンイノベーション	東京農工大学林教授が、日本の中小企業のオープンイノベーション(知識や技術を有効活用するために、開かれた「場」で、より良きアイデアを外部に求める手法)について、欧米のように成果を出すために、政府は大企業を偏重し過ぎる政策とオープンイノベーションの理論を単純化したがる傾向の改善が必要であると解説。	技術経営研究科 林 志行 教授
27	2月23日	RBB TODAY	web PC-9801は人類の遺産！?～IPSJ、「情報処理技術遺産」認定制度を開始	情報処理学会(IPSJ)が、次世代に継承していく上で重要な意義を持つ情報処理技術遺産の保存と活用を図るため「情報処理技術遺産」を認定する制度を始め、第1回目の「分散コンピュータ博物館」として「東京農工大学情報工学科西村コンピュータコレクション」を認定したと紹介。	西村 恕彦 名誉教授
28	2月24日	ITmediaNEWS	web 「FACOM128B」「PC-98」など「情報処理技術遺産」に認定	情報処理学会が、日本のコンピュータ技術史上重要な技術や製品を「情報処理技術遺産」、また関連資料を保存している施設を「分散コンピュータ博物館」と認定する制度を始め、「分散コンピュータ博物館」として「東京農工大学情報工学科西村コンピュータコレクション」他1件を認定したと紹介。	西村 恕彦 名誉教授
29	2月25日	日本経済新聞	新聞 価値を創る 停滞を越えて 第4部 再生への鼓動 ④ 排ガスや振動も資源に 危機が促す革新	日本には生産性の向上が容易ではない小さな農地が分散しており、効率よく管理する技術が重要となっている中、東京農工大学などがTを駆使して多数の小さな農地を生かす研究を、長年取り組んできたことを紹介。	

追加記事等

No.	掲載年月日	媒体名		記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等	
1	1月13日	日刊アグリリサーチ	雑誌	技術情報 農作業の負担軽減へパワーアシストスーツ開発＝東京農工大	東京農工大学遠山教授、荻原教授の研究グループが、農業用の装着型ロボット「ウェアラブルアグリロボット」を開発したことの発表、および、研究グループのコメントが掲載。	共生科学技術研究院 共生科学技術研究院	遠山 茂樹 教授 荻原 勲 教授
2	1月16日	Fuji Sankei Business i.	web	農工大が作業補助ロボットスーツ 収穫や運搬の負担軽減	東京農工大学遠山教授、荻原教授らの研究グループが、農作物を収穫する際の労力を軽減するロボットスーツの開発に取り組んでいることの発表、および、東京農工大学遠山教授のコメントが掲載。	共生科学技術研究院 共生科学技術研究院	遠山 茂樹 教授 荻原 勲 教授
3	1月20日	毎日jp	web	琵琶湖：現状、脱温暖化の取り組みなど 大津でフォーラム、シンポジウム／滋賀	東京農工大学堀尾名誉教授が、琵琶湖の現状や脱温暖化の取り組みなどを考える滋賀県琵琶湖環境科学研究センター主催のフォーラム「コラボしが21」で基調講演を行うことの内容。		堀尾 正毅 名誉教授
4	1月22日	先端技術事業化 (日経BP)	web	東京農工大学、 米SRIと提携し人材育成プログラムを開発	東京農工大学が米SRIインターナショナルと、博士課程の学生やポストドクターに向けた人材育成事業「アグロイノベーション研究高度人材養成事業」で提携することを、共同で開催した「イノベーションと人材育成に関する特別講演会」で発表。	アグロイノベーション 高度人材養成センター	西河 淳 センター長
5	1月23日	nikkei BP net	web	電子・機械 森林総合研究所、未利用木質バイオマスから 高性能接着剤をつくることに成功	東京農工大学が、木材に含まれる「リグニン」から、エポキシ接着剤の3倍の強度をもつ接着剤を、森林総合研究所や長岡技術科学大学と共同で開発したと発表。	共生科学技術研究院 共生科学技術研究院	重原 淳孝 教授 片山 義博 教授
6	1月27日	Biotechnology Japan (日経BP)	web	研究者採用は「4人に1人を女性へ」、東京農 工大学が新施策	東京農工大学宮浦女性キャリア支援・開発センター長が、1人の女性教員を採用した場合に、翌年度にもう1人分の人件費を支給する制度を発表。	女性キャリア支援・開 発センター	小畑 秀文 学長 宮浦 千里 センター長
7	1月27日	フジテレビ	テレビ	めざましテレビ	東京農工大学細見教授が、「フォーカスONE」のコーナーで、東京・築地市場の移転予定地土壌汚染問題の原因として取り上げられている発がん性物質「ベンゾピレン」について、人体への影響を解説。	共生科学技術研究院	細見 正明 教授
8	1月28日	TBS	テレビ	みのもんたの朝ズバッ！	東京農工大学細見教授が、不連続シリーズ「ほっとけない」のコーナーで、日本全国の地下に残る有害農薬問題とその解決策について解説。	共生科学技術研究院	細見 正明 教授
9	1月29日	日経産業新聞 (日経テレコン21)	9面	東京農工大 絹糸で小径血管 直径1-4 ^μ 、弾力性高く 伝統工芸の技術応用	東京農工大学朝倉教授らの研究グループが、生体との適合性を高めた絹糸で、細く弾力性に富んだ血管を作ること成功したことの紹介、および、東京農工大学朝倉教授のコメントが掲載。	共生科学技術研究院	朝倉 哲郎 教授
10	1月30日	読売新聞 (地域・多摩版)	34面	女性教員増へ取り組み強化 農工大 採用部署に人件費増額	東京農工大学が、女性教員の採用促進などを目的とした「農工大式ポジティブアクション『プラス1』」を策定したと紹介。	女性キャリア支援・開 発センター	宮浦 千里 センター長
11	1月30日	科学新聞	2面	米英中と研究交流 JSTの国際協力事業 新規課題決定	東京農工大学平澤教授らの「水田生態系を用いた家畜廃水浄化と水稲生産の可能性とそのリスク評価」および、東京農工大学細見教授らの「生物機能を強化した水環境のバイオレメディエーション」が、科学技術振興機構の国際協力事業の新規採択課題として紹介。	共生科学技術研究院 共生科学技術研究院	平澤 正 教授 細見 正明 教授